

GO!GO! ボランティア 第17回 ITOガ行く!

音楽でみんなの幸せMAKING(メイキング)



ITOさんより

慰問で高齢者施設へお邪魔するたびに味わえる多くの方々との感動的な交流は宝物。その素晴らしい雰囲気は、会場の皆さんの善意と善意との相乗効果により醸し出されるのだろう。この感動に私のボランティア精神が更にかき立てられる。

ある日のITOさんの一日

- 11:00 ~ 11:30 楽器・機材一式の搬入(保管場所より)
- 12:30 ~ 13:45 慰問先へ搬入、設営、リハーサル等
- 14:00 ~ 14:50 ライブ(本番)
- 15:00 ~ 楽器・機材の搬出・積み込み
- 16:30 ~ 楽器・機材の搬入(保管場所へ)
- 17:30 ~ 反省会(打ち上げ)

私が、元プロのミュージシャンに誘われてバンドの一員となり、初めて音楽活動を始めたのが20年前です。以降、高齢者福祉施設への慰問を中心としたライブ活動をギター担当として展開してきました。現在は、平成25年夏に私が立ち上げた新バンド「MAKING(メイキング)」のリーダーとして、ボランティアを基本とする活動をしています。

まず、私が新たなバンドを立ち上げた理由は、過去の慰問活動を通して味わうことができた感動が忘れられず、培ってきたノウハウを活かして純粋なボランティアバンドとして出会える多くの方々との音楽の楽しさや感動を分かち合い、創出される幸せなひと時を共有し、明日への希望・活力にしてほしいという思いを新たな活動で実現したかったからです。

バンドは9名(うち男性5名)編成で、友人など人脈を辿っての声掛けやインターネットつながり等で集ってくれた30代~60代の年齢層の厚いグループです。パートはトランペット、クラリネット、アルトサクソ、テナーサクソ、キーボード、ギター、ベース、ドラムス、パーカッション、ボーカル(優れた歌唱力の歌姫です)司会(軽妙なトークが売りです)となっており、私はベースギター担当です。ジャンルは昭和歌謡が中心で、ヒーリング、スイング、

ラテン音楽にも挑戦しています。具体的な活動として、月に2回の練習、高齢者福祉施設への慰問や地域の夏祭り、医療機関のイベントなどを含めて年に6回程度のライブをしています。なお、バンドの名称MAKING(メイキング)の由来は、結成当時のメンバーの名前の頭文字を並べてみたら「MAKI」となり、発展の可能性を秘めて進化中というイメージで「ING」を加えたというものです。

私は、バンドのリーダーとして3年以上にわたり音楽活動を主導してきましたが、ライブのたびに重い機材などの搬出作業からライブ会場への搬入、設営して本番、さらに撤収から保管場所への搬入まで、バンドメンバーには大変な思いをさせていることにいつも胸が痛みます。しかし、それ以上にライブ先で味わえる感動や関係者の皆さんからの嬉しい反響が、私たちの疲れを癒してくれると同時に充実感をもち、次へのやりがいにも確実に繋がっていることに、大きな喜びと携わってくださった方々への感謝の念を抱かずにはいられないのです。そして、味わえた感動こそがこれからも私を、そしてバンドメンバーたちを更なる活動へとかき立て、その連続で前進していけると確信しています。

バンドとしては、各メンバーとも多忙な中での活動ということもあって、レパートリーを拡げる時間的余裕があまりないという課題を抱えています。年齢差があっても和気あいあいとした雰囲気の中で共通の目標に向かって楽しく活動しています。そして何よりもMAKINGを心待ちにくださる方々や涙を流して喜んでくださる方々がいる以上、決して上から目線にならずに一緒に楽しめるようなバンドを構築しつつ、不撓不屈のボランティア精神で活動を続けていきたいと思っています。



ボランティア情報



ボランティア初めの一步 大切なマナー&ルール

希望のボランティア先へ連絡するときは、まず名前を名乗って、用件(ボランティアに参加したい・詳しく聞きたい)を正確に伝えましょう。メールでのやりとりは日常的になりましたが、プライベートなものとは違います。メールで問い合わせるときは、名前と連絡先を忘れず書きましょう。あとで電話を入れておくのが失礼ではない方法です。ボランティアへの参加当日、急用で参加できなくなったときは、必ず電話連絡を。また、約束の時間は守りましょう。

随時 学びながらエイズを知り、活動に参加できるメンバー募集

青少年 医療 名古屋市 中区



生徒たちに講義をしながらスキルを高めていく学生ボラモ

学校で子どもたちにAIDSやいのちの大切さを伝えたり、検査会場や電話でAIDSに関する相談を受ける活動に関わりませんか?ボランティアは「教育」「医療」「福祉」「国際協力」に携わっている人をはじめ、会社員や学生、主婦など多彩なメンバーが在籍しています。知識が全くなくても、研修などを通して学ぶことができます。活動に興味のある方は、ぜひ一度ご連絡ください。

日時: 随時
場所: 名古屋市青少年文化センター 名古屋市中区栄3-18-1
連絡先: 特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター 中部支部
担当: 右田・大郷
TEL: 052-831-2290(10:00~15:00)
FAX: 052-831-2268 E-mail: chubu@npo-jhc.com

その他: 活動会員は会員登録と会費が必要です。ベシック研修のほか専門研修などがあり、受講費用は無料です。
【交通手段】公共交通機関のみ【最寄り駅】地下鉄名城線「矢場町」5・6番出口より徒歩5分、地下鉄東山線・名城線「栄」7・8番出口より徒歩7分【URL】<http://www.npo-jhc.com/>

ボランティア数: 50人
年齢層: 20代~70代(多い年代) 40代
男女比: 男性3:女性7

第3木曜 使用済み切手の仕分けボランティア募集!

環境 国際 名古屋市 北区



仕分メンバーのバイオリン演奏もあります

名古屋市社会福祉協議会では、ご寄託いただいた使用済み切手をボランティアのご協力のもと仕分けし、収集先の団体へ送付しています。現在、この仕分に協力いただけるボランティアを募集しています。仕分作業は誰でもできる、簡単なものです。皆さんおしゃべりしながら、和気あいあいと仕分をしています。興味をもたれた方、参加してみたい方はお気軽にご連絡ください。

日時: 毎月第3木曜日 10:00~16:00(入退室自由、1時間のみ参加可) 曜日が変更されることもありますので、参加される前に一度お問い合わせください。
場所: 名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室(西) 名古屋市北区清水4-17-1
連絡先: 名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター 担当: 村田
TEL: 052-911-3180(8:45~17:30)
FAX: 052-917-0702 E-mail: t.murata@nagoya-shakyo.or.jp
その他: 【交通手段】公共交通機関のみ【最寄り駅】名古屋地下鉄名城線「黒川」1番出口から徒歩8分【子ども連れでの参加】可能【URL】<http://www.nagoya-shakyo.jp/>

ボランティア数: 9人
年齢層: 30代~70代(多い年代) 60代
男女比: 男性4:女性5